

施策番号 4-2-2	施策名 スポーツしやすい環境づくり	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり			
		政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			
	主管課	社会教育課	課長名	日下勝祐	内線	517
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
町民がいつでも気軽に自由にスポーツができる環境づくりを進めます。		町民	いつでも気軽に自由にスポーツができるようにする				健康で明るいまちづくりを実現する
成果指標	説明	単位	23年度(策定時)	28年度	29年度	30年度	
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%	63.3	61.0	70.8	70.0	
②	スポーツ指導員数 町内の体育施設利用者数	指導員数 利用実績	人 人/年	113 174,075	97 171,340	100 177,639	126 198,000
③	高校生以下のゲートボール競技人口	社会教育課調べ(競技人口)	人	9	11	13	20
成果指標設定の考え方	①健康で明るいまちづくりの推進から、スポーツしやすい環境づくりを進め70%を維持する。 ②スポーツしやすい環境への向上を目指しているが、施設利用者については、前期計画策定時点の水準を目標とする。指導員数については、特にスポーツ少年団の指導者の増加を見込む。 ③発祥の地としてGBの普及啓発を行うこととしており、青少年層の競技者を継続的に確保していく。						

2. 施策の事業費

	28年度決算	29年度決算
施策事業費(千円)	207,773	175,029
人工数(業務量)	1.7134	1.7710

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成29年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標はすべて向上という結果となったが、スポーツ指導員の数は、本計画策定時と比べて減少している。
②平成30年度の目標値達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	・スポーツしやすい環境や施設利用者数は適切な施設管理により増加させる →プールや体育館における講座の充実で指標の向上を図る ・青少年のゲートボール競技人口増加のための事業展開 →指標は少年団員数であるが、一昨年度から学校と連携し、各小学校で体験授業を展開し、その結果、生徒の保護者がチームを作って活動する事例があるほか、子どもゲートボールフェスティバルへの参加者増にも繋がっており、継続した取り組みで目標達成は可能
(2) 施策の成果評価に対する平成29年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	チャレンジデー実施事業 ゲートボール普及活動事業 各種大会出場支援事業 スポーツ少年団運営支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・スポーツしやすい環境づくりの充実 →体育施設では、台風被害に伴い西運動広場にサッカー場を開設した。また、各体育団体・少年団活動への助成、更には少年団活動のバス借上げ支援や全国・全道大会出場支援を継続することで、スポーツしやすい環境であると思う町民の割合の向上に繋がっている。 ・発祥の地のスポーツであるゲートボール振興 →全町大会への高校生チームの参加や発祥の地杯全国GB大会に連動した合宿事業の実施、寺子屋めむろや各小学校の授業でのGB体験授業などを通じ、今後の青少年のゲートボール競技人口の増加のため事業展開を図り事務事業の充実に繋がった。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の健康づくりや運動指向の高まりと、個々の運動実践の機会の増加指向により、より安全な施設や機器類の整備がより多く求められてきている。</li> <li>・温水プールや屋外体育施設の老朽化が進み、施設備品や機器類に対する更新時期に到達しており、計画的な整備を推進する必要がある。</li> <li>・ゲートボールの競技人口が減少→発祥の地として特に青少年や成年層に対する普及を進めていく必要がある。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合体育館や屋外体育施設の施設備品・機器類の早期の更新の要望。</li> <li>・温水プールの早期施設改築。また、議会からは温水プールの新設を含む施設整備の提言書あり。</li> <li>・台風により被災した体育施設(野球場・パークゴルフ場)の復旧整備の希望あり。</li> </ul>

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たにに取り組むべき課題)

課題① 体育施設の整備の充実が必要 ・温水プールは、学校教育活動や高齢者等の健康増進などに主眼に置いた建替え整備の推進。 ・老朽化している屋外体育施設の長寿命化を見据えた整備。 課題② 青少年のスポーツ環境の充実 ・関係機関との連携を図った継続的な取組の推進。 ・スポーツ少年団の指導者養成。
---

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	スポーツ環境の整備や、子どもがゲートボールに触れる機会の創出など、計画策定時と比較して前進していると言える。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	ボランティアで指導者を確保することが困難になっており、指導者不足は今後益々大きな課題となる。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価と同じく前進していると評価する		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	指導者不足の要因には、申し込みにくさもあると思うので、前段階で講習などがあると良い。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					